



創造と挑戦！
これが瀬棚の
まちづくり

日本初の洋上風車 「風海鳥」

構想から5年を経て、日本初となる洋上風車「風海鳥」が4月に本格的に運転を開始しました。強い浜風を受け、新たな瀬棚のシンボルとして元気に回っています。こうした瀬棚町の新しい取組みが、本年度より民間企業が始める大型風車6基の建設へとつながりました。今後、このような地域の資源を活用した、新しい環境産業の振興について大きく期待しているところです。

北海道初の「有機酪農と 有機農業の推進特区」

北海道で初めてとなる「有機酪農と有機農業の推進特区」については、先日認定を受け、これまで法律により

平成16年度予算特集◎

自らの手で切り拓く 創造と挑戦のまちづくり

現代のような不安の多い世の中でも、不安にめげず、そしてあきらめることなく、瀬棚のまちづくりの成果とその原点を、未来ある子どもたちに引継いでいかななくてはなりません。豊かな自然の中で、安心して子どもを生み育て、人間らしく暮らせる、元気のある町づくりができるよう、「自らの手で切り拓く、創造と挑戦のまちづくり」を合言葉に、その具体的な取組みを行っていくため、次の4点を目標に今年度のまちづくりを進めていきます。

- 1 地域の産業を元気にして『にぎわいのあるまち』
- 2 健康で生きがいを持って暮らせる『安心・安全なまち』
- 3 地域資源を活かした生活環境の向上で『潤いのあるまち』
- 4 未来を担う子どもたちやまちづくりを担う人づくりを進め『いきいきとしたまち』



日本初の洋上風車「風海鳥」



特区認定式

できなかった株式会社直営による農場を町内に開設できるようになりました。

民間企業が参入することで、生産、販売、加工が一体化でき、有機農業の効率化や、周辺農家との技術交流など、有機農業のさらなる推進につながるものと考えます。

さらに、これまで行ってきたモニターツアー事業に加え、修学旅行生などの誘致も計画されており、体験学習の場や、瀬棚を支える応援団づくりにつながるものと期待しています。

また、行政事務の軽減を目的に、畜産物加工センターの乳製品部門を民間に賃貸し、特産品の開発・生産の拡大を進めたいと考えております。